えきまち研究会　開催概要

背景と目的

荒尾市の中心拠点の一つである荒尾駅周辺地区では、これまで住民参加型のワークショップ等によるにぎわい創出に向けた検討を行ったなかで、駅周辺の回遊性などの課題が挙げられ、誰もが安全・安心・快適に回遊できるウォーカブルな空間の形成の実現を目指しています。

荒尾駅周辺まちづくりの経緯

- 一般社団法人のあそびlaboによるプロローグ広場を活用した体験型マルシェ「のあそびマルシェ」の開催
- 空き店舗リノベーションによる駅周辺の魅力向上に向けた取り組み（荒尾駅前活性化プロジェクト）等
- 市民ワークショップを開催し、荒尾駅周辺のまちづくりの方向性について検討

えきまち研究会とは？

荒尾駅周辺を居心地のよい場にするためのビジョンやアクションを検討するため、既にまちづくり活動を行っている方、周辺店舗の事業者などのまちづくりの担い手となりうる皆様と今後の荒尾駅周辺のまちづくりの方向性について話し合う場です

居心地のよい場づくり（＝プレイスメイキング）について

ひとの欲求やひとの活動から、公共空間のあり方を考え、
公共空間にひとりひとりの居場所をつくる手法のひとつで
従来の「つくる→つかう」ではなく「つかう」ことから考えていきました

つかう
・ひとの欲求
・ひとの活動
から、つかうことを考える

→ **つくる**
ひとりひとりの居場所をつくる

→ **居心地よく使われる公共空間**

→ 他者とのかかわりが生まれる

→ 人々の暮らしを豊かにする

対象範囲・コンセプト

A商店街エリア、B停車場線エリア、C駅前広場エリアの３か所を対象として、まち歩きから将来ビジョンの検討、アクションプランの検討まで行いました。

計４回の研究会のご意見を踏まえ、荒尾駅周辺の全体コンセプトと各エリアの場のイメージを以下のように設定しました。

全体コンセプト：

ここにしかない出会い・楽しみを通して
日常を少し潤す
誰もが気軽に来れる
歩いて楽しい
居場所になるまち

各回の結果

計4回のえきまち研究会を開催し、参加者の皆さんから多くのご意見をいただきました！

商店街に関するご意見　停車場線に関するご意見　駅前広場に関するご意見

1 まち歩き

2024年3月6日（水）

■ まち歩きをしながら椅子を並べて座ってみて居心地の良さを確認
■ 場所の良いところや課題について

- 昭和レトロな雰囲気を活かし市民の交流空間となると良い
- まっすぐ延びて見通しが良いことを活かし歩いて楽しい店舗が並ぶにぎわいロードになれば良い
- 現状気軽に買い物ができる場所が少ない。駅の利用者をおもてなしするにぎわいの中心拠点になると良い

2 将来ビジョンの検討

２０２４年6月5日（水）

■ どんな活動・体験が出来たら良いか
■ 活動イメージを一言で表すキーワード「#○○○○」

#他世代交流
#店の方と会話を楽しむ
- 学生が自習スペースがあるカフェでテスト勉強できる

#広くて歩きやすい
#夕やけが見える
- 縁側をイメージした椅子とテーブルで休憩できる

#にぎわい
#誰でも使える
- テイクアウトした商品を可動イスやテーブルで飲食できる

3 アクションプランの検討①

2024年7月31日（水）

■ 将来ビジョン実現に向けてすぐにでもできそうなこと・時間はかかるけど必要なこと
■ 活動イメージに合った設備やデザイン

- プロローグ広場と商店街を一体的に使ったイベントを開催する
- 使える公共空間を探す、見つける
- 空地を使ってキッチンカーを置いてみる
- 大石たばこのシェアキッチンを使う時、沿道にテーブルを出してみる
- 夕やけの眺めを確保する

メジャーや模型を使ってスケールを実感しながら検討しました！

4 アクションプランの検討②

2024年9月30日（月）

■「自分が協力できる」「是非やってみたい」取り組みについて

- 駅前広場の歩行者空間活用に向けて今後の社会実験の開催を検討

目的	・駅前の居場所づくり
ターゲット	・通勤・通学で荒尾駅を利用する人周辺に住む人、働く人
取り組み	・朝食をテイクアウトできるよう、店の前にイス・テーブルを設置する ・軒先に統一された照明を置くなど、明かりで華やかな空間を演出して安全に歩きたくなるようする